

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 曾根中学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	北九州市立曾根中学校 全学年（1年169人・2年207人・3年181人）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 保健体育科・総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ 文化発表週間 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・オリンピック・パラリンピックへの関心をさらに高め、スポーツの価値や効果の再認識を図るとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解への理解などを深める。 ・ボッチャ等を体験させることで、パラリンピックスポーツの魅力に触れさせるとともに、共生社会について考え、障害の有無に関係なく誰もが気持ちよくスポーツを楽しむ心情を養う。
5 取組内容	○オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めるため「心に残ったワンシーン」をレポートにまとめる 夏休みの課題として、オリンピック・パラリンピックで実際に行われた競技の中で一番自分が「心に残ったワンシーン」を調べ、A4一枚にまとめる学習を設定した。 <生徒のレポート>



○オリパラコーナー掲示板的設置

オリンピック・パラリンピックで活躍した選手の紹介を目の付きやすい場所に設置した。



○パラリンピックへの理解を深めるためのボッチャの体験学習の設定

総合的な学習の時間にボッチャの体験学習を行った。ボッチャという競技は、老若男女、障害のあるなしに関わらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツである。この競技体験を通して、ルール等の工夫によって誰もがスポーツを楽しめるようになることや、スポーツによってさまざまな立場の違う人が、交流を深めることができると学ぶことができた。

〈ゲームの様子〉



6 主な成果

○「心に残ったワンシーン」をレポートにまとめる学習について

東京オリンピック・パラリンピックを通じて、たくさんの感動と勇気が日本中に届けられた。日本は過去最多のメダル獲得数となったが生徒のレポートでは、メダリストだけでなく、メダルを獲得することが出来なかった選手に注目しているものもあり、それらを生徒間で共有することで、東京オリンピック・パラリンピックの意義等について考えを広げたり、深めたりすることができた。また活動を通して、スポーツに対する興味・関心を向上させることができた。

〈生徒の感想から〉 ※一部抜粋

- ・池江選手（水泳）を再び東京オリンピックの舞台で見れて感動した。諦めずに自分と戦う姿は、未知の可能性と希望を与えてくれた。
- ・寺内選手（飛び込み）は競技終了後に関係者、スタッフに何度もお辞儀をしていた。結果は12位でしたが、演技後、スタンディングオベーションがおき、とても感動した。結果がすべてではないと感じることができた。
- ・阿部詩選手（柔道）の最後まで相手に立ち向かう、諦めない姿に強く心を動かされました。私も彼女のように、「努力がやっと報われた」と言えるまで努力をしていく。その勇気を与えてもらいました。

〈文化発表週間での取組〉



	<p>○オリパラコーナー掲示板的設置について オリパラコーナーを設け、JSPO（公益財団法人 日本スポーツ協会）から毎月発行されているスポーツニュース新聞などを掲示した。また、選手の紹介新聞を掲示することで改めて東京オリンピック・パラリンピックの興味・関心を高めることができた。</p> <p>○パラリンピックへの理解を深めるためのボッチャの体験学習の設定について ボッチャの体験では、実際に体験することでその楽しさに触れるとともに、誰もが参加できるスポーツであることを実感し、パラリンピックの種目となっている意義を考えさせることができた。</p> <p>〈生徒の感想〉 ※一部抜粋 ・初めて体験し、とても楽しかったです。 ・ルールが分かりやすく白熱した試合をすることができた。 ・力などがいないから誰でも楽しめることに気付いた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 （事業の特色）</p>	<p>○東京オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたって、事前に保健の授業において、スポーツの在り方や意義について深く考えた。また、国際大会を行う理由を考え、東京オリンピック・パラリンピックを応援できるように促した。</p> <p>○ボッチャを体験する前に教室にルールブックを置くことでボッチャへの興味・関心を深めた。また、タブレットを使った調べ学習を行い、自分たちでボッチャを体験するための事前準備をしっかりと行った。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○今後も、オリンピック・パラリンピック教育を学校全体の教育活動の一つとして、継続的に行っていくことで、オリンピック・パラリンピックのレガシーとして活用する。また、研修の機会を設けるなどして全職員がオリンピック・パラリンピック教育についての理解をさらに深めていきたい。</p> <p>○総合的な学習の時間等を活用し、他の競技等についても実際に体験することで、新たな気づきや考えの深まりを促したい。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○東京オリンピック・パラリンピックが開催され、今まで以上にスポーツへの興味・関心が高まった。保健の授業だけでなく、総合的な学習の時間や道徳科などを生かし、継続的に学習を繋げていく。また、参加した選手やスタッフに体験談を話してもらう機会を設けるなど、次回のオリンピック・パラリンピックにも繋げられるように取り組んでいく。</p>